



2019年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社アプラスフィナンシャル
代 表 者 名 代表取締役社長 渡部 晃
(コード番号 8589 東証第一部)
東 京 本 部 東京都千代田区外神田三丁目12番8号

アプラスグループ中期経営戦略について

当社は、2019年度を初年度とする3ヵ年の中期経営戦略を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は2018年度を最終年度とする中期経営計画において中長期ビジョンとして「グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リーンなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する」を掲げ、「より高い収益体質を追求して、成長を加速」、「成長を支えるバックアップ体制の高度化」を骨子として取り組んでまいりました。

その結果、ショッピングクレジット事業、カード事業、ペイメント事業の各事業は安定的に成長するとともに、近年、新たな事業の柱として推進してまいりましたハウジング事業については、前中期経営計画期間において急成長を遂げることができました。

また、社会的なキャッシュレス化の要請に応えるため、クレジットカードの新システムを2018年度にリリースし、従来より取り組んでまいりました構造改革とあわせて、お客さまにより高品質なサービスを提供するとともに高効率のオペレーション体制を構築してゆく環境が整いました。

今年度よりスタートいたします中期経営戦略におきましては、中長期ビジョンであります「グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リーンなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する」を目指して「価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化」を基本方針とし、更なる成長を目指してまいります。

「アプラスグループ中期経営戦略（2019年度～2021年度）」の概要は別紙のとおりです。また、新生銀行グループ中期経営戦略につきましても、本日、新生銀行ウェブサイトでご覧いただけますので、あわせてご覧ください。

以 上

本件に関する報道機関からの問い合わせ先 総合管理部（企業戦略） TEL 03-6630-3933 金崎

アプラスグループ中期経営戦略(2019年度～2021年度)の概要

1. 中長期ビジョン

グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リーンなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する

2. 基本方針

価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化

3. 中期経営戦略骨子

①既存ビジネスの改善・改良による収益拡大と環境変化への対応

- ・ショッピングクレジット事業：多方面の資金ニーズに対応するプラットフォームとして展開
- ・カード事業：キャッシュレス化の中心として、よりアクティブな顧客基盤の拡充
- ・ペイメント事業：決済手段多様化に対応した新規ビジネス展開と既存ビジネスの収益力強化
- ・ハウジング事業：既存商品の充実と新商品へのチャレンジによる長期優良債権の安定的積上げ
- ・ペイメントソリューションを強力に推進するコンサルティング営業体制推進
- ・新生銀行グループ一体となった営業連携、新規事業の推進

②構造改革推進による徹底した省力化と人材の活用

- ・新たな仕組みの導入、オペレーションセンターと回収センターの融合により高品質・高効率センター体制を構築
- ・営業戦略、構造改革を支えるシステム開発・運用体制実現
- ・拠点再編、子会社統合の着実な実施

③働きがいのある職場づくり

- ・多様性の尊重と機会の平等を目指して、コミュニケーションの充実と隅々まで目の届くマネジメントを追求